

ごあいさつ



平素はJAひがしみの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、わが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大が続いている中、さまざまな分野で影響を受け経済活動は停滞気味となっており、先を見通せない状況にあります。ワクチン接種が進むにつれ経済活動の早期の回復を期待するところであります。

農業を取り巻く環境につきましても、農畜産物の販売に新型コロナウイルスの影響を受けているところであります。また、農業従事者の高齢化や担い手、後継者不足等による農業従事者の減少、耕作放棄地の増加等も進み依然として厳しい環境下におかれておりますが、今後は、スマート農業による省力化の取り組みやコスト低減の取り組み支援、販売力の強化、管内農畜産物のブランド化等を図り、農業者の所得増大を目指してまいります。また、国内農畜産物の消費拡大並びに食料安全保障の重要性や農業のもつ多面的機能の重要性について、国民的理解の醸成を図ることが課題であり、消費者の皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

JAをめぐる情勢は、改正農協法施行後さまざまな課題が提起されておりましたが、これまで取り組んでまいりましたJAの自己改革については、政府からも一定の評価がされたところでありますが、新たなステップを目指し、引き続き自己改革を進めてまいります。

このような状況のもと、令和2年度は第7次中期計画の中間年度として、「農業者の所得増大と農業生産の拡大」、「組織基盤の確立と地域の活性化」、「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」を柱として計画の実践と課題に取り組んでまいりました。その結果、一定の成果も収めることが出来ましたが、最終年度を迎え目標達成に向けてさらに努力してまいります。

今後も組合員・利用者の皆さまとの繋がり強化を図り、法令等遵守態勢を徹底し、地域の皆さまに信頼され、必要とされるJAを目指し、役職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

ここに2021年版ディスクロージャー誌を発行させていただきますので、ご一読いただきJAひがしみのへのご理解をさらに深めていただき、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

東美濃農業協同組合

代表理事組合長 細江 成徳